

内需拡大を支える社会インフラの基盤整備

日本総合研究所 翁 百合

- 今後、わが国は、内需を拡大し、雇用機会を作ることが急務。また中長期的にも、アジア市場などの需要にも応えつつ、内需の拡大によりどのように豊かな国を作っていくのか、大きな枠組みを示しつつ国民生活に安心を与えること、内需拡大を支える社会インフラの基盤を整備し、内需を掘り起こす民間部門の努力をサポートすることが重要。

- 雇用を生み出す上で有望で、潜在的に需要が大きいと考えられる分野：医療・介護関連分野、保育など少子化対応・教育、農業・観光などの地場産業活性化等。

- 保育、医療・介護の分野は、今後のわが国の人口構成の変化を踏まえた、国民生活、社会の姿を予想すれば、中長期的にも需要は大きく伸びるはず。こうした需要にしっかり社会経済システム全体としてサービスが提供できるよう、政府として環境を整備しておく必要がある。具体的には、これらの分野のサービスの拡充や民間参入、人材活用を妨げている様々な規制や制度的問題を総点検した上で見直し、真に必要な社会インフラ基盤に財政資金を重点的に投入することが必要ではないか。
 - 保育分野は、待機児童が増え、超過需要がさらに顕在化。喫緊の課題として、保育所等の保育サービスの質と量の拡充を社会全体として進めるため、民間企業の参入をやすくするための一層の環境整備と財政資金による支援が重要。保育サービスの充実は、子育て世帯の所得形成を助け、保育サービスに従事する保育士などの雇用も創出。長期的に少子化の進展を防ぎ、女性の就労を促す環境整備として大きな効果を持つはず。

 - 潜在的に重要な社会インフラの基盤という観点では、健康情報のITネットワーク構築やデータベースの充実であろう。レセプトのオンライン化も含め、この分野への財政的支援は、超高齢社会において予想される高い需要に対して付加価値の高いサービスを創出し、雇用を創出するための社会基盤整備のために有効ではないか。

以 上